

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 17号

通算 2069回



例会日：水曜日

第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)

例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町 2-10

事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23

サイバーリンクス N-4ビル 2階

TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200

http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会 長：郷間博敏 幹 事：奥村智子

会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



御坊市の花《ぎげく》

本日の例会

11月13日(水)

18:30～華月殿

ロータリーング：四つのテスト

行 事：外部卓話「牟婁病(紀州の奇病)の

今昔-高齢化と医療の限界-

和歌山中ロータリークラブ

パスト会長 八瀬善郎様

次回の例会

11月20日(水)

12:30～華月殿

行事：IDM発表②

ロータリー情報・規定委員会

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

山田敬三様ご入会おめでとうございます。これから宜しくお願いいたします。

○クラブ細則第3条 第1節、10月の第1例会で11月第1例会に於いて、会長ノミニー及び坂口年度の役員・理事(5大奉仕委員長)の候補者を選出する旨の告知を行いましたので発表をさせていただきます。

- ・会長ノミニー 平 平治会員・副会長 南美和子会員・幹事 谷口拓会員
- ・会計 中岡隆文会員・会場監督 赤在依美会員(理事)・クラブ奉仕委員長 保田博会員
- ・職業奉仕委員長 釜中甫干会員・社会奉仕委員長 宇治田堅三会員・国際奉仕委員長 吉田遼会員
- ・新世代奉仕委員長 津川善昭会員

12月第1例会の年次総会に於いて、出席者の投票により当選を決定いたします。



幹事報告

奥村 智子 幹事

- ・一万人大清掃の清掃場所の案内が届いております。日時：11月10日(日)8:30～10:00
集合場所：本町公園、清掃場所：北ぶらくり丁、中ぶらくり丁
本町公園地下駐車場は使用不可となっております。清掃当日は市役所北側無料駐車場を解放していますが、駐車台数に限りがあり、満車の場合は有料の城北公園地下駐車場、周辺コインパーキングをご利用ください。
- ・2013-2014年度 国際ロータリー第2640地区 ガバナーエレクト事務所開所のお知らせが届いております。
開所日：2013年11月4日、住所：河内長野市古野町7-422F
- ・ガバナー月信 11月号を各テーブルに1部ずつ置いております。お目通しください。
- ・各テーブルに和歌山市内9RC協同事業 JR和歌山駅前花壇の植え替え分担金をお渡しした写真、第13回花フェスタ ガーデニングコンテストの「和歌山市内9ロータリークラブ賞」写真、花壇にきいちゃんの看板設置の写真を置いております。お目通しください。
- ・2016-2017年度 ガバナー候補者推薦書提出のお願いが地区より届いております。締め切りは1月31日。



ロータリー財団

中曽真二郎 会計

郷間君・市川委員長 本日は宜しくお願いします。
神谷君・主旨に賛同して。

東南育英会

中曽真二郎 会計

青木君・山田さん、ご入会おめでとうございます。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 1,074,076	126,000	130,000	13,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名 11/6	35名 74.47%
出席免除会員	4名 10/23	40名 83.33%

郷間君・山田敬三様 ご入会おめでとうございます。

籠田君・山田さん、ようこそ。お待ちしております。

溝落君・辻本さん旅行の写真、ありがとう。素晴らしいカメラで撮っていただいて？

市川君・R財団クラブフォーラムの当番です。居眠りOKです。

坂口君・次年度の役員・理事の皆様、よろしくお願いします。

宇治田君・11月の遠征ゴルフコンペ、御参加 有難う。

ご本人お誕生日お祝い・角谷君(東北旅行の際 シャンパンで御祝いして頂き、有難うございました。)

辻本君、楠見君。

配偶者お誕生日お祝い・青木君、奥村君、津田君。



「新入会員入会式・バッジ授与式」 山田 敬三会員



郷間会長より山田会員へ
バッジの授与



青木会員 より歓迎のご挨拶



山田会員入会のご挨拶

《 表 彰 》

郷間会長より
吉田直前会長へ

2012-13年度
米山功労クラブ賞



第13回 和歌山花フェスタ ガーデニングコンテスト
和歌山市九ロータリークラブ賞 開催者 花いっぱい推進協議会



《ロータリアンの守るべき道》

⑧ どこで会ってもロー
タリアン同士は、快く
会釈し親睦に努めまし
ょう。

クラブフォーラム ロータリー財団委員会 市川正夫 委員長



11月はロータリー財団月間です。本日、皆様のお手元に配布されましたロータリーの友誌11月号にも特集として、新しい財団プログラムによるグローバル補助金を活用した事例等も掲載されておりますので是非、ご一読頂きたいと思います。私の卓話より参考になるかと思えます。

本委員会は、国際奉仕委員会の中に小委員会として組み込まれておりますが、財団プログラムに使われている年間予算の額からも分かるようにRIとしては、最も重要な部門といえます。

ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門であり、私たちの自発的な寄付によって支えられております。

クラブ・ロータリー財団委員会は、財団の補助金プロジェクトを通じて、人々の健康状態の改善、教育支援、貧困救済に努め、世界理解、親善、平和を促進する計画を立案し、活動を行うことにあります。

ロータリーの著書に、『奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは、単によいことをするだけでなく人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる衣服を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人々を結びつけるには、強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が超我的奉仕と言う理想なのです』。他の人々の役に立つ具体的活動をしているのがロータリー財団です。

ロータリー財団は、アーチ・クランプが国際大会において「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案したのが始まりとされ1917年のことであります。又、同氏は「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。

たとえ、大理石に碑銘を刻んだとしても、やがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘を刻むならば、それは、永遠に輝き続け、ロータリーを不滅のものにするだろう」。の言葉を心の糧とし構想を練られたといわれています。

1930年代の世界大恐慌の始まり頃、ロータリーの創始者、ポール・ハリスが名前を秘して、米貨500ドルを寄付し、身体障害児童保護国際協会にその500ドルを贈ることを要望したのが最初の財団補助金授与であります。これを起点として財団の熱意はポリオプラスへと発展していくことになります。

1957年には、財団の活動に寄付した人々への感謝を示す手段としてポール・ハリスフェローの認証を開始しました。その後、恒久基金の寄付の認証としてベネファクターができました。

ロータリー財団のプログラムは、その時代背景と時勢により何度か見直されてきましたが、大きく分類すると、人道的プログラム、教育的プログラム、ポリオ・プラスプログラムの3種類に分けることができます。

本年度より「未来に夢」という新しい財団プログラムが導入されました。

クラブの奉仕活動を資金的に補助を受けることができるロータリー財団補助金には、地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの3種類があり、これを利用するにはそれぞれ、満たすべき条件があります。

ロータリー財団の寄付には、年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金のいずれかに充てられます。

最後に、ロータリー財団の趣旨をご理解いただき地区目標である年間、一人当たり200ドルのご寄付にご協力を頂きますようお願いいたしまして終わらせて頂きます。

11月10日(日) 一万人大清掃・JR 駅前花壇花の植え替え(市内 9RC 共同作業)

